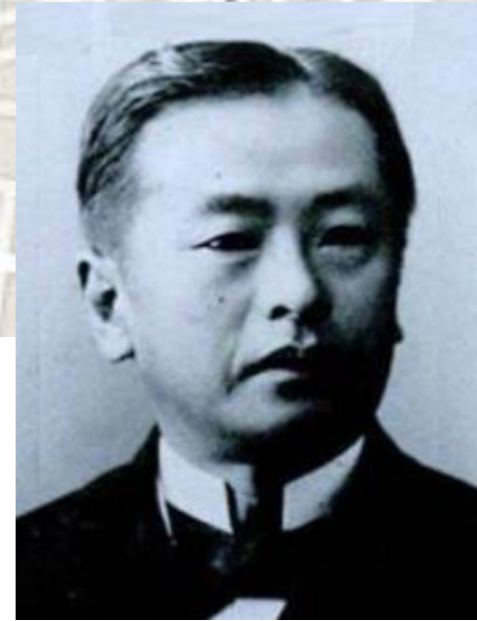


2 神水義塾で学び、明治法律学校へ進学



旧明大記念堂



明治法律学校長
岸本辰雄



国際法教師
ポアソナード



明治大学発祥の地 (有楽町)



民法教師
大木喬任



刑法教師
鶴田 皓



商法教師
箕作麟祥

哲太郎は、17歳のときに神水村（現熊本市中央区神水本町）の神水義塾に通い、中西牛郎(号 蘇山)から英語、中西の父惟寛から陽明学を学び、八淵蟠竜（やつぶちばんりゅう）から仏教を学びました。

その後、明治20（1887）年2月、21歳で上京し、神田南甲賀町（現千代田区神田駿河台1丁目）の明治法律学校（現明治大学）に進学しました。同校では家からの仕送りも乏しく食費を削って法律書を購入し、勉強しています。当時の校長は創設者の岸本辰雄で、教師がフランス法学者国際法のポアソナードや民法の大木喬任（おおきたかとう）らでした。

哲太郎は、同23(1890)年3月、父甚三郎が亡くなったため、志半ばにして学業を断念し、帰郷しました。